

生駒市ごみ減量市民会議(第2回) 会議録(要旨)

1. 開催日時 平成28年9月5日(月) 午後1時30分～午後3時30分

2. 市役所401・402会議室

3. 会議次第

- (1) 今までの経緯(トライアルで行ったことのポイント)
- (2) 平成28年度ごみ減量市民会議活動計画(案)
- (3) 自治会懇談会について
- (4) いこま博での啓発活動について
- (5) キューロトライアル
- (6) その他

4. 出席者(敬称略)

【参加者】 藤堂 宏子、淡輪 勝人、永野 洋子、山下 博史、田中 勝久、藤尾 庸子、石川 千明、下山 一則、奥田 高弘、小山 忠昭、坂本 剛伸、山口 昭夫、藤中 章夫、寺井 孝幸、中谷 充隆

【事務局】 吉川(環境保全課長)、中川(環境保全課課長補佐)、大窪(環境モデル都市推進課課長補佐)、西井(環境保全課事業係長)

5. 欠席者(敬称略) 藤澤 清二

6. 傍聴者 0名

7. 会議内容(要旨)

●今までの経緯(トライアルで行ったことのポイント)

事務局 <資料「生駒市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画「ごみ半減プラン」の策定から今までの経緯」「ごみ半減トライアル計画とは」の説明>

座長 なぜ最初に経緯などを説明したかという点、「生駒市ごみ有料化等検討委員会」から携わっている人や今回の会議からかかわった人など、いろいろな背景の人が集まっているため、いままでの流れを理解してもらおうと思ったためです。今の説明の中で質問がありますか。

参加者 <異議なし>

●平成28年度ごみ減量市民会議活動計画(案)

事務局 <平成28年度ごみ減量市民会議活動計画(案)の説明>

座長 活動計画についてご質問等あればご意見をお願いします。

参加者 <異議なし>

●自治会懇談会について

事務局 前回の会議で、日ごろのごみの状況などを話す場として5地区の自治会との懇談会を開催することとなり、先般、南地区自治連合会の山下会長から開催のご

連絡をいただきました。日時は平成 28 年 10 月 6 日(休)午後 3 時から、場所は萩の台住宅地自治会館、30 名前後の方にご出席をいただけると聞いています。他の 4 地区についても日程等を決めていただきたいと思います。

座長 今年度 3 月までに 5 地区自治会での懇談会を各 1 回は開催することを目標とします。北地区はあすか野自治会が希望していただいていると聞いています。日程は未定ですが今年度中を予定していて、萩の台住宅地自治会と合わせて今年度中に 2 回の懇談会の開催は決まったということになります。中地区・東地区・西地区の自治会でも調整をお願いします。萩の台住宅地自治会館での懇談会には、南地区に在住の人は必ず参加をしてください。今後の懇談会には、自分の該当の地区の人は必ず参加をし、他の人は状況にあわせて参加してもらえたらと思います。会議のメンバーは、懇談会の中で自治会との橋渡しの役割を担っていただきたいと思います。何かご意見はありますか。

参加者 座長は毎回参加しますか。

座長 座長、座長代行、事務局 2 名以上は必ず毎回参加します。ごみの分別の説明をする場面があると思うので、生駒市衛生社にも参加してもらいたいです。懇談会の参加者についての質問はありますか。

参加者 <異議なし>

座長 懇談会の内容についてですが、皆さんの意見をお聞きしたいと思います。例えば、ごみ有料化前後のごみの数値を市が説明をしたあと、自由意見を交換するような懇談会やごみの分別講習会の講義をする方法などがあります。意見があればお願いします。

参加者 会議から質問をして、自治会に答えてもらう形式がスムーズに進められると思います。

座長 懇談会の始めに、事務局として説明してもらいたい内容はありますか。

参加者 そもそもごみを減量する理由から聞きたいという意見がありました。

座長 財政がひっ迫してごみの有料化をする他市町村の事例が多いのですが、生駒市は「ごみ半減プラン」にある循環型社会、低炭素社会の構築が目的になっているため市民にはわかりにくく、有料化前の各地域での自治会説明会でも同様の質問は多かったです。

参加者 自治会のメンバーとして焼却施設見学を行い、生駒市のごみ（焼却後の灰）が大阪の埋め立て施設に運ばれているが、経費がかかっているということが分かりました。ごみを減量しなくては、経費が増大するというのなら、ごみを減量する理由も納得しやすいかと思います。一般市民からすると、「生駒市ごみ半減会議」は「ごみを有料化したい」という思いが先行し、アリバイ作りをしているのではないかという風に見えるという声もありました。

参加者 ごみの分別を積極的に行っているのは焼却施設の寿命が近づいているので、燃やすごみを減らす必要があるからです。焼却施設を建て替えられずに困ってい

る自治体もあります。そのような自治体の事例を紹介してもいいのではないのでしょうか。

事務局 有料化説明会の中で、ごみの減量の効果として二酸化炭素の排出量の削減の話をしました。ピンとこない話だったかもしれません。説明会では、焼却施設の延命化、焼却施設建て替え時の規模縮小による経費の削減、埋め立て施設である最終処分場の延命化のために、ごみ削減が必要という話もしたので、懇談会でも同様の話をできたらいいかと思います。

参加者 なぜ生駒市ごみ減量市民会議をするのかを説明する必要もあるかと思います。初めに、生駒市のごみ問題をパワーポイントなどで 5～10 分説明した方が良くかと思います。

座長 私自身が、循環型社会というのは国レベルの問題であり、生駒市でどんな循環型社会ができるのかと思っていました。ごみ減量の意識を全市に展開するためには、その疑問を解決することから始める必要があります。市が実施した 2 回のアンケートでは、7 割以上の人は環境のためにごみを削減する必要があると理解しているという結果が出ており、住民の皆様も理解いただいているかと思えます。他にこんな話をした方が良くという意見はありますか。

参加者 ごみ半減トライアル地区ではあまりごみ減量の取組ができず、いい数字が出なかった結果として、ごみの有料化に踏み切ったということですね。

事務局 取組ができなかったのではなく、様々な取組をしていただいたが、大幅な削減はできなかったということです。

参加者 基本的にはごみの減量をした方が良くと市民は理解できていても、理解できている人に対して具体的にどうやって行動に移してもらおうか考えることが会議の目的かと思えます。ごみの有料化をすることでごみの減量をさせるのも 1 つのやり方ですが、1 年間で 13%しか削減できていません。ごみの有料化だけでなく、ごみの資源化などのさまざまな方法を会議で意見を出し合っていないかとは思いません。

参加者 半減トライアル計画の反省を 5 自治会の懇談会で示し、活用する必要があるかと思えます。

参加者 モデル地区で活動をした立場としては、3.7%よりもごみは減った実感がありました。住民の皆さんに呼びかけをし、減らす努力をしてもらい、1 割くらい減っている実感がありました。しかし、ごみの量は時期によっての増減があり、特に減ったと思った時期は、ごみの量が年間の中で通常少なくなる時期だったということもありました。ごみの減量を呼びかけても呼びかけに反応して取り組んでくれる人と無関心な層、そこまで努力しなくても良いだろうという層は必ずあります。生駒市全体に呼びかけるのならば、関心を持つ層を広げていく必要があります。自治会として呼びかけしても無関心層、実践できない層には取り組んでもらえませんでした。積極的に取り組んだ層からは「取組次第でごみ

が減ると分かった」というプラスの意見をたくさんもらいました。地域の中にはすでにごみを減らしていて、70lの袋で大きいという人もいれば、45lの袋にたくさんつめている人もいます。市全域ではいろんな市民がおり、100%の人から協力を得るのは無理かと思うので、実際に生活している人の意見を聞いて考えていかないとごみの減量は難しいかと思えます。

参加者 モデル地区では、どうすればごみの減量ができるかを考えていただける人たちが集まってくれました。少しでも関心を持ってもらったりごみの分別をがんばってもらったりしてもらえないようにならないと、ごみは減っていきません。そのため、懇談会のづくりが大切で、市民の気持ちを動かす情熱をどう伝えるかが難しいと思えます。こういった層を対象に懇談会をするかによっても違うので、懇談会のタイトルのつけ方が大事かと思えます。

参加者 100%の人が関心を持つことは難しいですが、ごみの有料化から1年経った今の時期、ごみの分別など様々なことに悩んでいると思えます。

先日、学童向けの調理教室で食品ロスの啓発チラシを配布しました。子どもたちはすでにごみの有料化を知っていて、プラごみの分別もしています。子どもの頃からの意識づけに効果があるので、ごみの有料化は良かったと思えます。長年、ごみの減量の啓発として様々な取組をしてきましたが、その結果ごみの有料化に至ったということ子どもたちに説明すると、様々な意見を出してくれて驚きました。調理教室にいっしょに行ってくれた他の方はいかがでしたか。

参加者 子どもたちはすぐ反応してくれると思えました。良いことはやっていくことが大事だと思います。

参加者 そのように教育面も関係するのを会議の参加者の皆さんには知っていただいて、この活動がうまくいけばと思っています。モデル地区の取組は、最終的に大成功でした。

座長 モデル地区の取組を通じて、地域住民同士の新しい情報交換の輪を得たという感想もありました。私は、今回の会議の活動は地道なものでエネルギーが要ると話しました。全世帯が対象だと、「なぜ減量するのか」という人が出てきます。懇談会参加者は若干でも環境に興味を持っている人ですが、中には反対者もいます。「なぜするのか」という人に対応するのはエネルギーが要り大変ですが、根気よくやっていく必要があります。

2回目のアンケートで、ごみを有料化せずにごみを減量する方法を提案してもらいましたが、その9割以上はごみ半減トライアル計画で実施しているものでした。計画で実施したという財産は大事にしたいので、「ごみ半減トライアル計画に関する報告書」の「はじめに」・「おわりに」・提言・課題・自治会懇談会に関する部分に目を通してほしいと思えます。まとめるにあたり、個人の感情は排除して実績のみに基づいて分析しましたので、結論ありきで報告書を作成しているのではないことを分かっていたきたいと思います。

- 参加者 「なんで必要か」という疑問に、ある程度応えないと懇談会での話が進まないと思います。「決まったことだから協力してくれ」ということならば、ある程度は仕方ないとなるでしょうし、「ごみの半減のために知恵を貸してください」という切り口ならば、様々な意見が出て、スムーズな懇談会になるでしょう。
- 座長 懇談会の入口としてすべき話の案があれば、意見をお願いします。
- 参加者 市の全体の説明のあとに意見交換を行うだけで意見は出ると思います。話が途切れるのであれば、ごみ分別クイズをすることで答え合わせしながら分別の話、食品ロスの話、キエーロの説明もできます。ただ、自治会の集まりなら結構意見は出ると思います。
- 座長 萩の台住宅地自治会館での懇談会の時間はどれくらいの予定ですか。
- 参加者 1時間～1時間半を予定しています。
- 座長 懇談会では、なぜごみの有料化になったのかを分かりやすく説明し、一度の懇談会での説明で分からなかった人には、分からない点に焦点をあてて回数を増やして説明したいと思います。この件は座長、座長代行、事務局と具体的にどんなことを話すか打ち合わせをしたいと思います。
- 参加者 懇談会前に、懇談会の具体的な内容の打合せに呼んでいただいても結構です。
- 座長 そのときは、会長以外にも地区の該当者にも来てもらったら良いですね。ところで萩の台住宅地自治会館には駐車場がないようですが。
- 参加者 近所の駐車場を貸してもらおうようお願いできるかもしれません。
- 座長 事務局で車を用意してもらえとも聞いています。できるかぎり市役所に行った方が良いのですか。
- 事務局 できるかぎりをお願いします。自治会館までのルートで都合が良い人がいれば、途中で乗ってもらえたらと思います。懇談会の参加者の確認をさせてください。
- 座長 座長、座長代行、南地区自治連合会の山下会長、南地区の住民の方、そして希望者ですね。
- 座長 南地区自治連合会の山下会長には、最初に懇談会を開催していただき、ご協力ありがたく思います。

●いこま博での啓発活動について

- 事務局 <資料「生駒の魅力をマルッといただき！いこま博 2016」実施要領《抜粋》の説明>
- 事務局 高山サイエンスタウンでも真弓小学校体育館でもブースをつくることは可能です。高山サイエンスタウンの場合は、もったいない食器市の一角で、真弓小学校体育館の場合は、体育館のステージ前が利用できると聞いています。食品ロスやキエーロなどの啓発ができるかと思います。
- 座長 まず、参加するか、するのであればどこにどういった内容かということを考えています。参加はするということによろしいですか。

- 参加者 <異議なし>
- 座長 事務局からは 2 つの場所の提案がありました。場所をどちらにするか、あるいは両方で行うのか。何をやるか、チラシの配布、キエーロの展示や実演、ごみの分別についての Q&A コーナー、模造紙にシールを貼ることで回答するアンケートやクイズの実施などが考えられます。時間は午前 10 時から 3 時頃までです。生駒市ごみ減量市民会議が発足したことはまだ広く認識されていないので、裏の目的としては会議を認知してもらうということもあるかと思います。ブースに大きな看板を展示するのも良いかと思います。
- 参加者 8 自治会合同での防災訓練で、小学校の校舎内でクイズラリーを行いました。景品が必要かとは思いますが、食品ロスなどのクイズを行えば、頭に残りますし、盛り上がると思います。
- 参加者 ECO-net 生駒では真弓小学校でプラレール、おもちゃ病院、かえっこパズルを行います。今年はその一角で食品ロスの啓発をしようと思っています。具体的には、パネルを 10 枚ほど展示し、チラシを配り、アンケートかクイズのどちらかを行います。アンケートかクイズの参加者には景品として「食品ロスを減らそう」と書いた冷蔵庫に貼るようなマグネットを 100 人くらいに配布を予定しています。去年は子ども連れの若いお母さんが体育館のすみで食事をするのが多かったので、今年は休憩所をつくり、そこで啓発しようと思っています。
- 座長 クイズラリーの意見がありました。ECO-net 生駒ですでに似たものを計画されていることが分かりました。会議としてどうするか、クイズの実施はいいアイデアなので、高山サイエンスプラザでしますか。せまいかもしれませんが。
- 参加者 いこま博のメイン会場はどちらですか。
- 事務局 高山サイエンスプラザです。
- 参加者 高山サイエンスプラザでブースを実施するのならテントを借りられた方が良いでしょうね。
- 事務局 高山サイエンスプラザは室内です。
- 座長 この会議のメンバーの中には、いこま博に参加する他の団体で出席する人が多いと思います。
- 参加者 他の団体と協働するのも良いのではないのでしょうか。
- 座長 協働も一つのやりかたですね。ただ、市民会議のアピールをしたいという気持ちもあります。
- 事務局 高山サイエンスプラザでは、2m 角程度のスペースが利用可能で、展示やちらしを置く程度であれば場所の確保は可能です。
- 座長 高山サイエンスプラザで、フリーマーケットの会場に人が多く集まるなら、そこで啓発をできませんか。
- 事務局 環境フリーマーケットは外で開催するので、雨の場合の対策が必要です。
- 事務局 花のまちづくりセンターふろーらむにも 1000 人以上は来ています。人の動きは

各会場で遜色ないかと思えます。

参加者 ただし、会議として動けるメンバーは少ないのでそこまで大きな規模でのブースはできないかと思えます。

参加者 高山サイエンスプラザでは、展示、ちらしを置いて、簡単なアンケートから始めるのが良いかと思えます。

事務局 ECO-net 生駒の人手が足りないのであれば、会議のメンバーが手伝えるのではないのでしょうか。

参加者 人手は足りていますが、いっしょにしてもらえたら助かります。

参加者 会議としての活動は初めてなので、大きなことはできないではありませんか。

参加者 高山サイエンスプラザと真弓小学校に展示をして、市民会議を始めたところ周知できるかと思えます。

参加者 今回はとりあえずその程度にしておき、次回また考えたら良いかと思えます。

座長 主会場である高山サイエンスプラザの一角でチラシ配布やアンケートなどを実施し、真弓小学校体育館ではECO-net 生駒に協力することと、チラシで市民会議を啓発するというスタイルでよろしいですか。チラシの内容はこれから考えましょう。

参加者 食品ロスのチラシには市民会議の名前も入れています。

座長 市民会議がスタートしたというチラシをつくるのも良いかと思えます。

活動の詳細の時間は次回決めますが、概ねは10時～3時頃です。場所は高山サイエンスプラザがメイン会場で、真弓小学校でも実施します。内容はチラシの配布と簡単なアンケートを行います。

参加者 アンケートがあると、会場につきっきりになる必要がありませんか。

座長 では内容は次回の会議で具体化しましょう。

●キエーロトライアル

座長 生ごみを減らす手段としてキエーロに対して補助金を出す市の方針があり、キエーロを普及させるためにも会議のメンバーは全員どれかのキエーロを実践してみましょう。実践して課題が分かると思えます。少なくとも3月まで、各自でトライアルをしていただきたいです。キエーロのタイプには、バクテリア de キエーロ、ベランダ de キエーロ、プランター de キエーロの3種類があります。事業者の方は差し障りがなければやってもらえたらと思えます。すでにキエーロを使っている4名以外はどれかを選んで実践してください。3月まで使って、そのあと継続するかは自由です。

参加者 3年使っていて、毎年6月にデータを取っています。データでは、重量比で燃えるごみの20%をキエーロ投入していることが分かりました。キエーロを始めた当初は20%以上投入していましたが、動物性のものをたくさん投入すると虫がわくので投入量は減りました。

参加者 コンポストに活性剤を入れると蛆虫やショウジョウバエが発生したので、殺虫

剤で殺しましたが、キエーロに虫はわきませんか。

参加者 キエーロを使っていますが、多少の虫はわいても困るほどではありません。穴をしっかりと掘って、混ぜるとそれほど出ません。

座長 3月までキエーロを使ってみるといろいろな問題が出ると思います。葉山町での普及は進んでいるようなので、見学行くのも一つかと思います。実践用のキエーロは会議の予算で購入するのか、自費負担をするのか、いかがでしょうか。

参加者 自己負担で問題ないかと思います。

参加者 使い方は葉山町で教えている基本に従い、うまくいかない部分はいろんな意見を聞いて実践しましょう。

座長 できれば今日中にどの種類をするか選んでください。配送方法等は後日調整します。

●その他

座長 次回の会議は10月24日ですので、よろしくお願ひします。事務局から連絡事項はありますか。

事務局 第1回会議の参加謝礼は本日振込を予定しています。アンケートは予定通り9月15日に発送の準備を進めています。

座長 次回の会議は懇談会の反省とイベントの具体的な内容になります。本日はありがとうございました。